

平成21年7月14日、地域活性化・経済対策のための臨時交付金および学校整備のための補助金等を、臨時議会で審議しました。

# 2701万円 可決!

地域の景気刺激策として臨時交付金および補助金を各自自治体に交付する補正予算が先の国会で可決されました。これにより東郷町には交付金470万200円、補助金765万8000円の計1億236万円が交付されます。これに東郷町の貯金2465万円を加え、総額1億2701万円の臨時予算を組みました。今回の交付金には、4つのメニューが設定されています。

**地球温暖化対策**  
公用車の一部を環境にやさしい低公害車にします。  
計834万5千円

**少子高齢化対策**  
①和合保育園の園舎、和合・たかね・南部保育園の遊具を改修します。  
②老人憩いの家を改修・バリアフリー化します。  
③諸輪・春木台・音貝・東郷小学校の図書館にエアコンを設置します。  
合計889万7千円

## 6月定例会

平成21年第2回定例会が、5月28日から6月23日まで27日間の日程で開催されました。6月定例会では、町長提出の12議案と、議員提出の2議案を審査しました。採決の結果は4ページの「一覧表をご覧ください」

### 町職員と議員のボーナスを削減

**可決**  
職員の給与に関する条例の一部改正

「一般職職員の給与に関する法律」等の一部改正に伴い、職員の夏季ボーナスを約10%カットするというものです。

### 賛成

これまでにない経済危機により、企業の業績は悪化し、ボーナスは軒並み削減されている。町の税収入も減り財政が非常に厳しい状況と、民間の厳しさを考えれば、職員のボーナス削減はやむを得ないと判断する。  
(山下律子 議員)

### 反対

今回の人事院の臨時勧告

は一部企業を参考にしただけ。中小企業は人事院勧告を参考に給与水準を決めるという実態がある。賃下げの負の連鎖が進み、地域経済が冷え込む。人事院勧告に従うべきでない。  
(門原武志 議員)

この議案の他に、町長・副町長・教育長、および議員の夏季ボーナスについても約10%カットする議案が上程・可決されています。

### 議員提案の2議案

**否決**  
総合計画審議会条例の改正

平成23年にスタートする第5次総合計画。この10年先を見据えた町の設計図作成にあたり、審議委員会に5人の町議が入るのですが、作成開始前に、これをやめようとするものです。

### 賛成

議会には町長提案のチエツクと、必要ならば修正も求められる。議員が審議会で町長の提案に自分の意見を入れた場合、その議員にとって議会で審議は不必要になる。これが続けば議会審議の活性化は期待できない。  
(門原武志 議員)

この条例には、「この審議会は行政の付属機関」とあるが、行政と議会は独立している。この改正は、町民が求める行政と議会の活性化につながる。(若園ひでこ 議員)

町長が諮問する審議会の委員に議員が入るのではなく、北海道栗山町議会のように、議会が町民参加を得た上で、町の将来計画の議案案をまとめる方法もある。弊害を避けるため、議員の審議会への参加は避けるべき。  
(山下律子 議員)